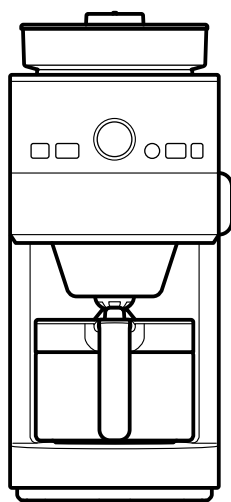


コーン式全自動コーヒーメーカー

SC-C124



取扱説明書 保証書つき

このたびはコーン式全自動コーヒーメーカー SC-C124をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。

業務用にはお使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
部品を取り付ける・取り外す	8
お使いになる前の準備	12
コーヒーをいれる	14
使い終わったら	22
タイマーを使ってコーヒーをいれる	23
お手入れ	25
故障かなと思ったら	29
仕様	32

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、サポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体や操作部に水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



接触禁止

蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コーヒーサーバー、バスケット、本体ふたなしで使用しない

やけどの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

壁や家具の近くでは使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

使用上の注意事項



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。



禁止

専用のコーヒーサーバー以外は使用しない

発火・故障・やけどの原因になります。



禁止

抽出中にコーヒーサーバーをはずさない

やけどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーをセットしたまま本体を動かさない

コーヒーサーバーが外れて、やけど・けがの原因になります。



禁止

空だきをしない

給水タンクに水が入っていない状態で通電すると、故障・火災の原因となります。



禁止

コーヒーサーバーをセットせずに使用しない

故障・やけどの原因となります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く

長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

水以外のものを入れたり、沸かししたりしない

牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを落としたり、かたいものにぶつけたりしない

樹脂部分が破損したり、コーヒーサーバー表面が変形し、保温性能が低下することがあります。



続けてコーヒーを抽出する場合は、「入/切」ボタン押して電源を切って、5分間休ませた後で再び使用する

本体が熱いうちに給水タンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出して、やけどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを直火にかけたり、電子レンジで使用したりしない

取っ手の変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを倒したり、レバーを押したまま持ち運びしたりしない

内容物が漏れて、やけどの恐れがあります。



禁止

コーヒーサーバーを水に浸さない

すぎ間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

⚠ 注意



ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにする

本体内部にミネラル成分が付着しやすくなったり、付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。



給水タンクに満水目盛り以上の水を入れない

湯がこぼれたり、本体の底から湯が出てやけどの恐れがあります。



電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない

電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。



直射日光が長時間あたる場所で使わない

故障の原因になります。



ミルにコーヒー豆以外のものは入れない

故障の原因になります。



水なしで空運転、ミルの連続運転をしない

故障の原因になります。



本体にふきんなどをかぶせない

変形や故障の原因になります。



ミルのお手入れは、必ず付属のお手入れブラシを使用する

けがの原因になります。



他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。



使用中に豆容器ふたやバスケットを開けない

やけどやけがの原因になります。



コーヒー抽出直後にステンレスフィルターまたはペーパーフィルターを直接触らない

やけどの原因になります。



使用中に給水タンクを外さない



屋外で使用しない

故障の原因になります。



テーブルなどからはみ出した状態で使用しない

けが・やけどの恐れがあります。



使用中や使用後しばらくはバスケットの下に手を入れない

しずくが垂れて、やけどの恐れがあります。

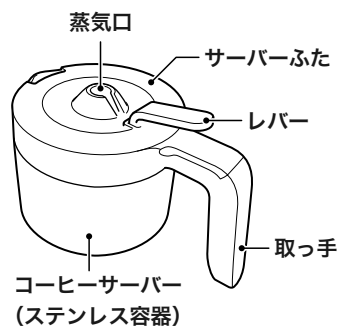
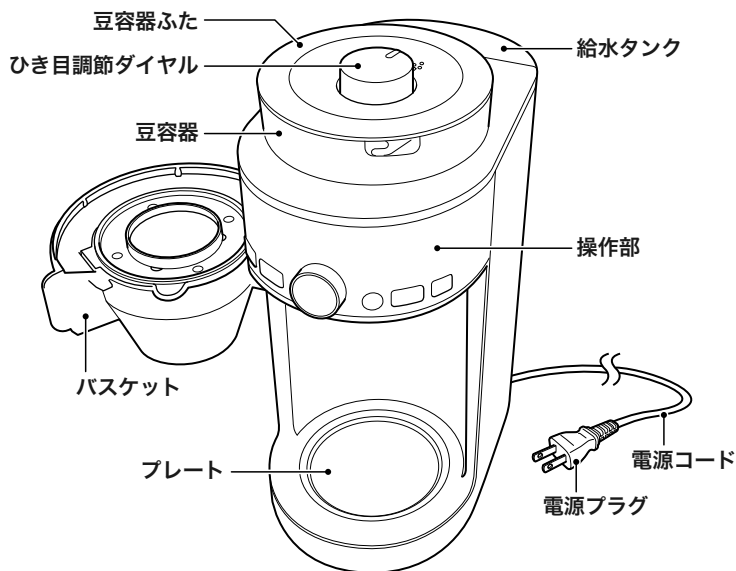


カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない

コーヒーが飛び散る恐れがあります。

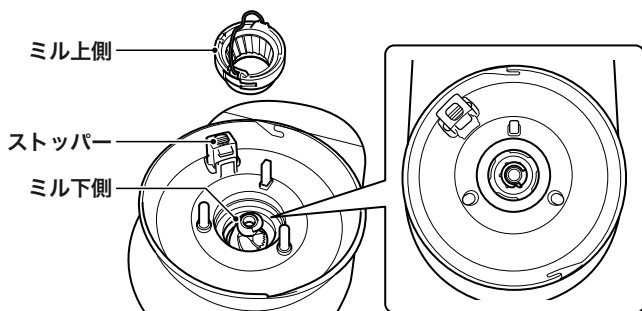
各部のなまえ

本体



コーヒーサーバーをコーヒー抽出以外の目的で使用しないでください。
転倒すると湯がもれ、やけどの恐れがあります。

▶ 豆容器内部

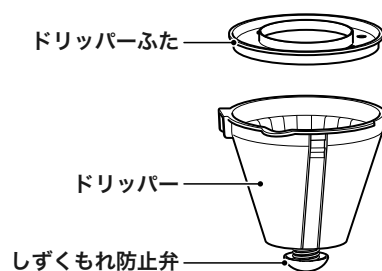


ミル上側・ミル下側について

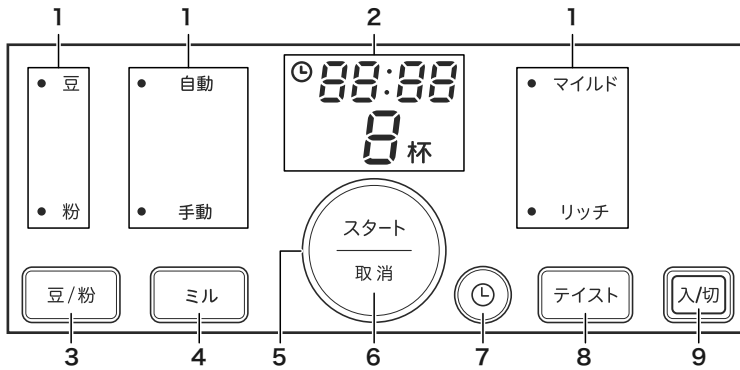
本製品は、すべて工場出荷時にコーヒー豆を使った検査をして性能を確認し、全品清掃をして出荷しています。コーヒー粉がミル上側・ミル下側に付着していたり、コーヒーのにおいが残っていたりすることがございますが、人体への影響はありませんので安心してお使いください。

▶ バスケット内部

ドリッパーには、しずくもれ防止弁がついているため、コーヒーがバスケットからもれ出ないしくみになっています。



操作部



名称		説明
1	ランプ	選んでいる項目のランプが、赤く点灯します。 対応するボタンを押すたびに、選択項目が切り替わります。
2	ディスプレイ	現在時刻、タイマー時刻、カップ数、ミルの動作時間が表示されます。
3	「豆/粉」ボタン	コーヒーを、豆からひいていれるか、粉からいれるかを選びます。
4	「ミル」ボタン	コーヒー豆を、コーヒーカップの杯数でひく「自動」と、好みの秒数に設定できる「手動」を選びます。
5	ダイヤル	時刻、カップ数、ミルの動作時間を設定するときに回します。
6	「スタート/取消」ボタン	抽出を開始する、中止するときに押します。
7	⌚(タイマー)ボタン	タイマーを設定するときや、タイマー運転をするときに押します。 待機状態のときに押すと時刻表示が消灯します。再度押すと点灯します。
8	「テイスト」ボタン	コーヒーの濃さを選びます。
9	「入/切」ボタン	本体の電源を入れる、切るときに押します。

付属品

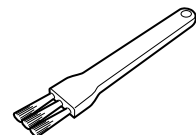
▶ ステンレスフィルター



▶ 計量スプーン



▶ お手入れブラシ



※ コーヒーの粉専用です(粉すりきり1杯が約6g、内側の線までが約3g)。

| 部品を取り付ける・取り外す

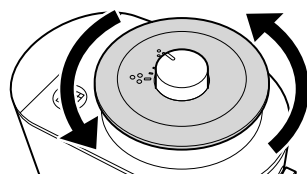
ご注意

- 部品を取り付ける・取り外すときは、「入/切」ボタンを押して、電源を必ず切ってください。
- 使用後は、「入/切」ボタンを押して電源を切り、本体が十分に冷めてから部品を取り外してください。

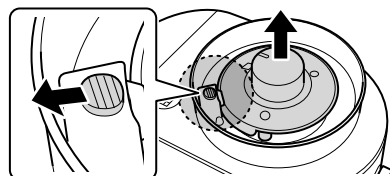
豆容器ふた・ひき目調節ダイヤル

取り外しかた

- ① 豆容器ふたを、反時計回りに回して持ち上げる



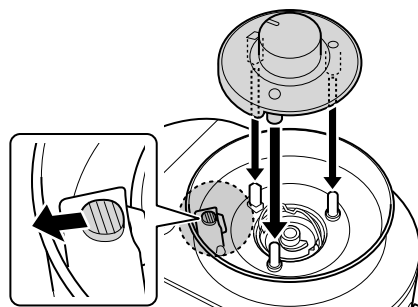
- ② ストッパーを押し込みながら、ひき目調節ダイヤルを持ち上げる



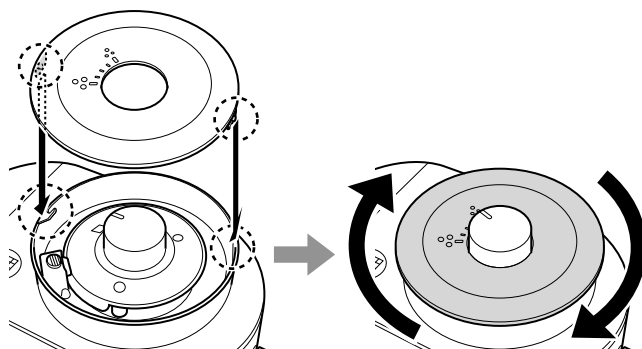
取り付けかた

- ① ストッパーを押し込みながら、ひき目調節ダイヤル裏側の穴(3か所)を、豆容器内の突起(3か所)に合わせて差し込む

差し込んだ後、ひき目調節ダイヤルを軽く動かして、空回りしたり外れたりしないこと、またストッパーに確実に入っていることを確認してください。



- ② 豆容器ふた側面の突起を、豆容器の溝に合わせてはめ込み、時計回りに止まるまで回す

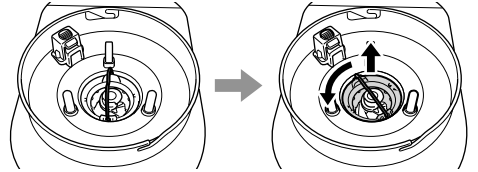


ミル上側

取り外しかた

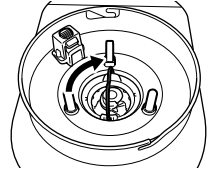
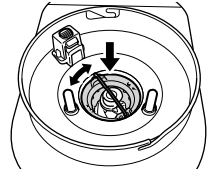
あらかじめ、豆容器ふたとひき目調節ダイヤルを取り外してください。

- 1 ミル上側の取っ手を反時計回りに止まるまで回してから持ち上げる



取り付けかた

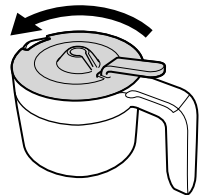
- 1 ミル上側をミル内部に差し込んでから軽く回して、奥まではまる位置に合わせる
- 2 取っ手を時計回りにカチッと音がし、止まるまで回す
取っ手を軽く引っ張って、ミル上側が抜けないことを確認してください。



コーヒーサーバー

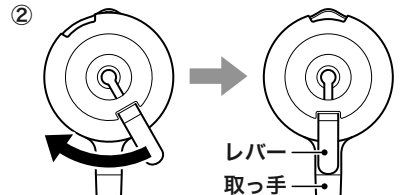
取り外しかた

- 1 サーバーふたを、反時計回りに回して持ち上げる



取り付けかた

- 1 サーバーふたをサーバーにはめ込む
- 2 取っ手とレバーの位置が合うまで時計回りに回して確実に閉める



| 部品を取り付ける・取り外す

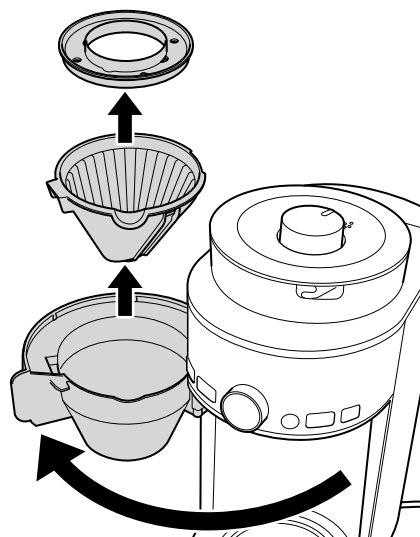
ドリッパーふた・ドリッパー

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
やけど・けがの原因になります。

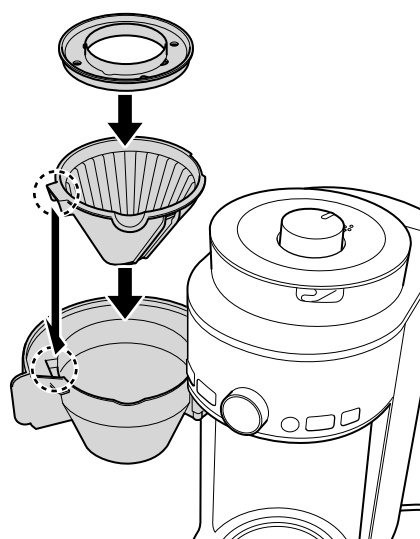
取り外しかた

- 1 バスケットを開けて、
ドリッパーふたとドリッパーを持ち上げる



取り付けかた

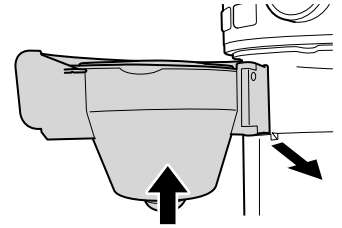
- 1 ドリッパーの凸部と、
バスケットの凹部を合わせる
続けて、ドリッパーふたを取り付けます。



バスケット

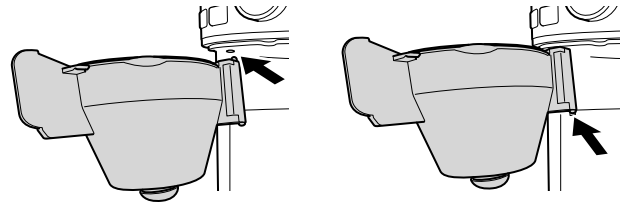
取り外しかた

- 1 バスケットを全開にする
- 2 バスケットを押し上げてから、バスケットの下側を手前に引く



取り付けかた

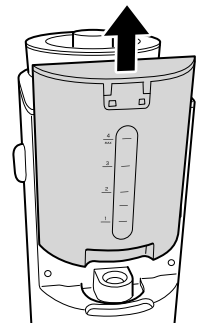
- 1 バスケットの上側の突起を本体上部の穴に差し込み、バスケットの下側の突起を本体の溝に差し込んでから、バスケットを強く押し込む



給水タンク

取り外しかた

- 1 給水タンクの底部をつかんで持ち上げる



取り付けかた

- 1 本体に沿って、給水タンクを差し込む
給水タンクと本体との間にすき間がなくなるまで、しっかりと押し込んでください。

| お使いになる前の準備

時計を設定する

タイマーを使うには、時計の設定が必要です。電源プラグをコンセントに差し込んだら、はじめに時計を設定してください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

電源プラグをコンセントに差し込むと、自動で時計の設定モードになり、「00」が点滅します。



時計を設定しない場合は

「スタート/取消」ボタンを押して、時計の設定モードを終了します。

※現在時刻を設定しないと、「00:00」から時計のカウントが開始されますので、はじめに時計を設定することをおすすめします。

2 時計の「時」を設定する

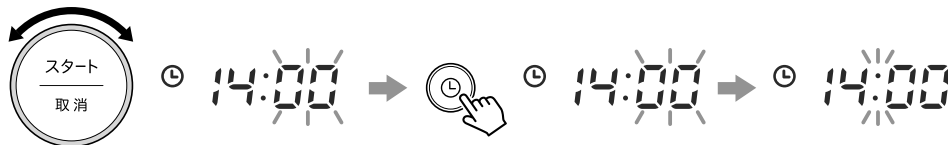
ダイヤルを回して「時」を合わせたら、⌚(タイマー)ボタンを押して確定します。



3 時計の「分」を設定する

ダイヤルを回して「分」を合わせたら、⌚(タイマー)ボタンを押して確定します。

約3秒後、「:」のみが点滅すると、設定は完了です。



ご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたときや、停電によって電源が遮断されたときは、時計の設定がリセットされます。時計がリセットされたときは、時計を設定しなおしてください。

時計を再設定する

時計がずれている場合は、下記の方法で本体をリセットして時計を設定しなおしてください。

1 「入/切」ボタンを押して、電源を入れる

電源が入ると、すべての操作ボタンが点灯します。

2 「入/切」ボタンを5秒以上長押しして、本体をリセットする

本体がリセットされると、ディスプレイが全点灯した後、時計の設定モードに切り替わります。

3 時計を設定する

➔ 「時計を設定する」手順②以降 [12ページ](#)

本体の内部を洗浄する

本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体の内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。以下の手順で本体の内部を洗浄してからお使いください。

ご注意

- 本体の内部を洗浄するときは、コーヒー豆・コーヒー粉を入れないでください。

① 水洗いできる部品は、本体から取り外して洗う

➔ 「部品を取り付ける・取り外す」 8ページ

➔ 「お手入れ」 25ページ

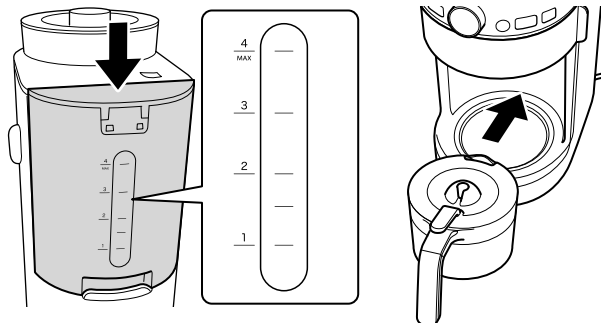
② 洗った部品の水気を十分に切ってから、本体に取り付ける

➔ 「部品を取り付ける・取り外す」 8ページ

内部の洗浄には水のみを使います。コーヒー豆・コーヒー粉は入れないでください。

③ 給水タンクの満水の目盛りまで水を入れて、本体に取り付ける

➔ 「取り付けかた」 11ページ



④ コーヒーサーバーをプレートにセットする

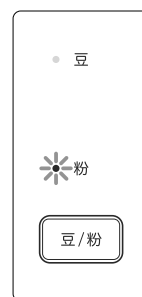
⑤ 「入/切」ボタンを押して、電源を入れる

電源が入ると、すべての操作ボタンが点灯します。

⑥ 「豆/粉」ボタンを押して、「粉」を選ぶ

ボタンを押すたびに、選択項目が切り替わります。「粉」ランプを点灯させてください。

「ミル」(自動/手動)、カップ杯数の設定は不要です。



⑦ 「スタート/取消」ボタンを押す

抽出が始まるとブザー音が鳴って、「スタート/取消」ボタンが点滅します。

抽出が終わるとブザー音が鳴って、「スタート/取消」ボタンが消灯します。

⑧ 本体が冷めるまで約30分待ってから、コーヒーサーバーのお湯を捨てて水ですすぐ

⑨ 手順③から手順⑧を、1回～2回繰り返す

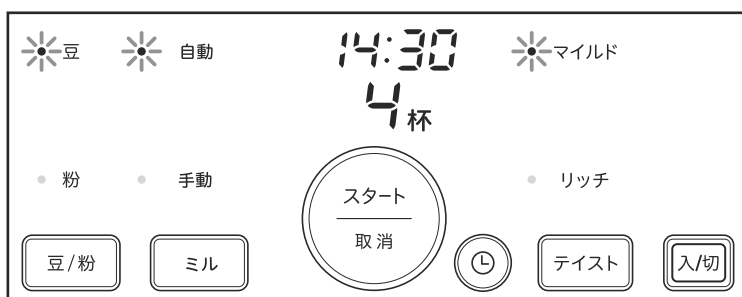
| コーヒーをいれる

「豆 / 粉」、「ミル」、「テイスト」、カップ数について

本製品では、2種類の方法でコーヒー豆をひいてコーヒーをいれたり、コーヒー粉からコーヒーをいれたりすることができます。

- 「コーヒー豆から抽出する(自動設定)」(18ページ)
- 「コーヒー豆から抽出する(手動設定)」(19ページ)
- 「コーヒー粉からコーヒーをいれる」(20ページ)

そのほかに、「テイスト」ボタンで蒸らし時間を「マイルド」(短め)、「リッチ」(長め)から選ぶことができます。



「豆/粉」ボタン	・「豆」：豆からコーヒーをいれる ・「粉」：粉からコーヒーをいれる
「ミル」ボタン	・「自動」：カップ数に合わせて自動で豆をひく ・「手動」：設定した時間(1秒～30秒)で豆をひく
「テイスト」ボタン	・「マイルド」：普通 ・「リッチ」：濃いめ
カップ数	カップ数に合わせてミル時間を調整できます(「ミル」を「自動」に設定時のみ) ・1杯～4杯

操作部が消灯したときは

約5分間なにも操作しないと、操作部が消灯して待機状態になります。「入/切」ボタンを押すと、再点灯します。

準備する

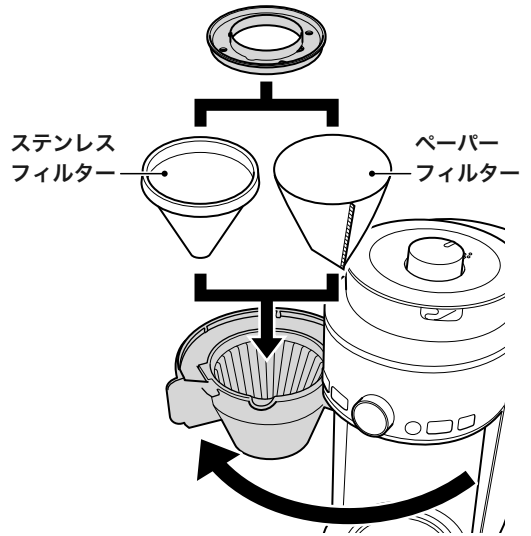
1

コーヒーサーバーに熱湯を半分くらい入れ、1～2分温めたらお湯をすてる

2

ステンレスフィルターまたはペーパーフィルターを取り付ける

- ① バスケットを開ける
- ② ドリッパーふたを取り外して、ステンレスフィルターまたはペーパーフィルターをドリッパーに取り付ける
- ③ 豆からコーヒーをいれる場合は、ドリッパーふたを取り付けて、バスケットを閉める



ペーパーフィルターの折りかた

底のシール部分を折り曲げる

側面のシール部分を底と逆側に折り曲げる

内側を広げる

2～4杯用のサイズのペーパーフィルターを使用できます。

2～4杯用サイズ：
(1×2)または(102)

ご注意

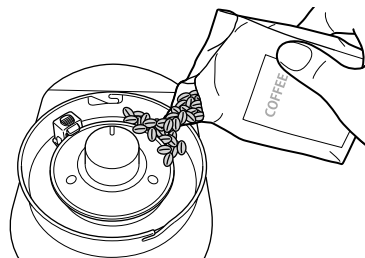
- ステンレスフィルターまたはペーパーフィルターを必ず取り付けてください。取り付けないと、抽出時にコーヒーがあふれる原因になります。

3

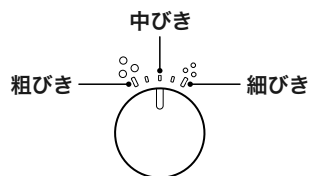
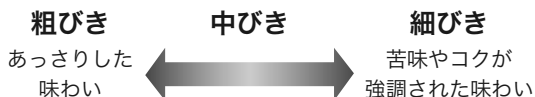
コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

コーヒー豆の場合

- ① 豆容器ふたを取り外す
→ 「取り外しかた」 **8ページ**
- ② 豆容器にコーヒー豆を入れる
コーヒー豆はコーヒーをいれるたびに量って入れる必要がなく、一度に約100gまで入れられる豆容器から、杯数に応じて自動計量します。

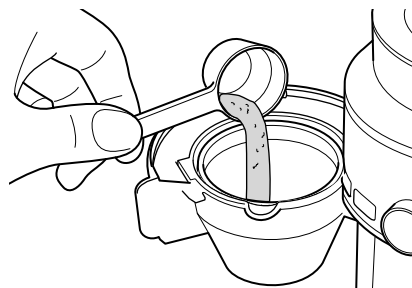


- ③ 豆容器ふたを取り付ける
→ 「取り付けかた」 **8ページ**
- ④ ひき目調節ダイヤルを回して、粒の粗さを設定する



コーヒー粉の場合

- ① 取り付けたステンレスフィルターまたはペーパーフィルターに、コーヒー粉を入れる
付属の計量スプーンは、すりきり1杯が約6g、内側の線までが約3gです。
- ② ドリッパーふたを取り付けて、バスケットを閉める



コーヒー粉量と水タンク目盛りの目安

コーヒー粉量の目安

ホット コーヒー カップ数	マグカップ カップ数	アイス コーヒー カップ数	コーヒー粉の量
1杯	-	-	12g (付属スプーン2杯)
-	1杯	-	15g (付属スプーン2+1/2杯)
2杯	-	2杯	18g (付属スプーン3杯)
3杯	2杯	3杯	24g (付属スプーン4杯)
4杯	-	4杯	30g (付属スプーン5杯)

水タンク目盛りの目安

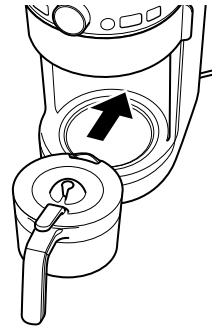
ホット コーヒー カップ数	マグカップ カップ数	アイス コーヒー カップ数	水タンクの 目盛り
1杯	-	2杯	1
-	1杯	3杯	1.5
2杯	-	4杯	2
3杯	2杯		3
4杯	-		4

ご注意

- 豆容器ふた・豆容器・ドリッパーふた・ドリッパーがぬれている場合は、水気を充分にふき取ってください。
コーヒー豆が付着して豆容器に残る原因になります。
- 湿ったコーヒー豆を入れないでください。
- 作るカップ数によっては、容器内にコーヒー豆が残る場合があります。
- ステンレスフィルターは豆の種類によって網目が詰まり、抽出時にバスケットからあふれる場合があります。その場合はカップ数を減らす、またはコーヒー粉を粗くする調整をしてください。

4

コーヒーサーバーをプレートにセットする

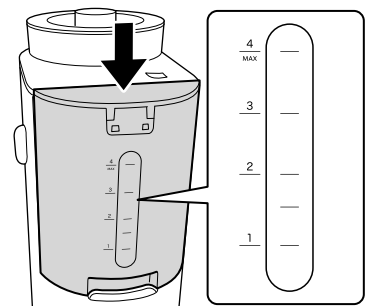


5

給水タンクに水を入れ、本体に取り付ける

- ➔ 「取り外しかた」 **11ページ**
- ➔ 「取り付けかた」 **11ページ**

- コーヒーの種類とカップ数に応じた目盛りの位置まで、水を入れます。
- 抽出は、給水タンク内の水をすべて使いきります。給水タンクには、1回にコーヒーを抽出する水を入れてください。
- 給水タンクを本体に取り付けた後は、本体内部に水が流れ込むため、目盛りより水位が下がります。



ご注意

- 給水タンクにお湯を入れないでください。
- 給水タンクを本体に取りつけた状態で、水を入れないでください。
本体内部に水が流れ込むため、規定量より多く水が入ります。
- 満水の目盛り(ホットコーヒー 4杯分)以上の水は入れないでください。
ふきこぼれの原因になります。

- 最低の目盛り(ホットコーヒー 1杯分)より多くの水を入れてください。
空だきすると、故障の原因になります。
- 給水タンクを本体に取り付けた後は、本体から取り外さないでください。
給水口から水がこぼれて本体内部に入り、故障の原因になります。

———— コーヒーが濃く感じられるときは ————

1杯～3杯の場合：水を多めに入れて調整してください。
4杯の場合：手順7の設定で、カップ数を「3」にしてください。

コーヒー豆から抽出する(自動設定)

豆をひく時間を、コーヒーカップの杯数に合わせて自動で設定できます。

1

「入/切」ボタンを押して、電源を入れる

- 操作部が点灯し、前回の設定が表示されます。

2

「豆/粉」ボタンを押して、「豆」を選ぶ

3

「ミル」ボタンを押して、「自動」を選ぶ

4

ダイヤルを回して、カップ数を設定する

5

「テイスト」ボタンを押して、蒸らし時間を「マイルド」(短め)、
「リッチ」(長め)から選ぶ

6

「スタート/取消」ボタンを押す

- ブザー音が鳴って、抽出が始まります。動作中は「スタート/取消」ボタンが点滅します。
- 抽出を中止したいとき(設定を間違えた場合など)は、再度「スタート/取消」ボタンを押します。
- 抽出が終了すると、ブザー音が鳴って「スタート/取消」ボタンが消灯します。

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
お湯や高温の蒸気が出てくるため、やけど・けがの原因になります。

コーヒー豆から抽出する(手動設定)

お好みに合わせて、豆をひく時間を手動で設定できます。

1

「入/切」ボタンを押して、電源を入れる

- 操作部が点灯し、前回の設定が表示されます。

2

「豆/粉」ボタンを押して、「豆」を選ぶ

3

「ミル」ボタンを押して、「手動」を選ぶ

- ディスプレイに前回設定した秒数が点滅し表示されます。

4

ダイヤルを回して、ミルの動作時間(1秒～30秒)を設定し、**ⓐ**(タイマー)ボタンを押して確定する

粉の量と時間の目安*			
ミルの動作時間	細びき	中びき	粗びき
5秒	約 5 g	約 6 g	約 7 g
10秒	約 11 g	約 12 g	約 14 g
15秒	約 18 g	約 20 g	約 22 g
20秒	約 25 g	約 27 g	約 30 g
25秒	約 33 g	約 34 g	約 37 g
30秒	約 40 g	約 41 g	約 43 g

* 豆の種類や室温などの環境により、粉の量が変わります。お好みの応じて調整してください。

↑
粉の量
↓

← 粉の粒度 →

豆の種類や豆のひきかたによって、コーヒー粉がフィルターからあふれる場合があります。ミル手動モードの時間を短くして、豆をひく時間を調整してご使用ください。

5

「テイスト」ボタンを押して、蒸らし時間を「マイルド」(短め)、「リッチ」(長め)から選ぶ

6

「スタート/取消」ボタンを押す

- ブザー音が鳴って、抽出が始まります。動作中は「スタート/取消」ボタンが点滅します。
- 抽出を中止したいとき(設定を間違えた場合など)は、再度「スタート/取消」ボタンを押します。
- 抽出が終了すると、ブザー音が鳴って「スタート/取消」ボタンが消灯します。

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
お湯や高温の蒸気が出てくるため、やけど・けがの原因になります。

| コーヒーをいれる

コーヒー粉からコーヒーをいれる

1

「入/切」ボタンを押して、電源を入れる

- 操作部が点灯し、前回の設定が表示されます。

2

「豆/粉」ボタンを押して、「粉」を選ぶ

3

「テイスト」ボタンを押して、蒸らし時間を「マイルド」(短め)、
「リッチ」(長め)から選ぶ

4

「スタート/取消」ボタンを押す

- ブザー音が鳴って、抽出が始まります。抽出中は「スタート/取消」ボタンが点滅します。
- 抽出を中止したいとき(設定を間違えた場合など)は、再度「スタート/取消」ボタンを押します。
- 抽出が終了すると、ブザー音が鳴って「スタート/取消」ボタンが消灯します。

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
お湯や高温の蒸気が出てくるため、やけど・けがの原因になります。

コーヒーを注ぐ

コーヒーサーバーのレバーを押しながら
コーヒーを注ぐ

- あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、
よりおいしくお召し上がりいただけます。



ご注意

- コーヒーサーバーの蒸気口からは高温の蒸気が出ます。
できたてのコーヒーはとても熱いので勢いよく注がないでください。
ゆっくりと注いでやけどに注意してください。



コーヒーの保温について

- コーヒーサーバーは二重ステンレス構造になっていますが、コーヒーの温度は時間の経過とともに徐々に低下します。
- 少量のときや室温が低いときは、コーヒーサーバーにコーヒーの熱が取られ、コーヒーの温度が低くなります。
- 長時間保温すると香りがぬけて風味が悪くなりますので、早めにお召し上がりください。

時刻表示を消灯するには

待機状態のときにⓐ(タイマー)ボタンを押すと、時刻表示を消灯させることができます。消灯してもタイマー設定はリセットされません。

点灯させるには、再度ⓐ(タイマー)ボタンを押してください。

アイスコーヒーを作る

1

「コーヒーをいれる」(14ページ)と同じ手順で、濃いめのコーヒーをいれる

コーヒー豆・粉は、アイスコーヒー用のものか、焙煎度の深い(深炒り)の豆をお使いください。

下記のように、豆の量が多くなる設定にしホットコーヒーより濃いめのコーヒーを抽出します。

■アイスコーヒー 1～2杯分(2～3杯分) ※ガラスの容量により変わります

- おすすめの抽出設定
- ・ 給水タンク…1杯分(2杯分)
 - ・ 抽出杯数…2杯分設定(3杯分設定)
 - ・ ひき目(豆からいれる場合) …細びき
 - ・ フィルター…ペーパーフィルター (微粉が液体側に入りにくいので舌触り、喉越しが良くなります)

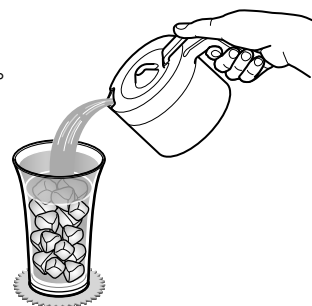
2

できあがったらコーヒーを急冷してできあがり

グラスにたっぷり氷を入れ、抽出したコーヒーを注ぎ一気に冷やしてください。

ゆっくり冷やすと濁ることもあるので「急冷」がおすすめです。

お好みでシロップやミルクを入れてお召し上がりください。



| 使い終わったら

ご注意

- 使用後は、必ず「入/切」ボタンを押して電源を切り、本体が十分に冷めてから、片づけやお手入れをしてください。

1

「入/切」ボタンを押して電源を切り、
本体が十分に冷めるまで待つ(約30分)

2

抽出済みのコーヒー豆・コーヒー粉を捨てる

- ① バスケットを開けて、ドリッパーふたを取り外す
→ 「取り外しかた」 **10ページ**
- ② ステンレスフィルターまたはペーパーフィルターを取り出す

ご注意

- 抽出済みのコーヒー豆・コーヒー粉はバスケット内に放置せず、早めにお手入れしてください。
そのまま放置すると、カビや雑菌が発生する原因になります。

3

取り外した部品や、本体のお手入れをする

- 水洗いできる部品は、本製品をお使いになるたびに必ず洗ってください。
→ 「お手入れ」 **25ページ**

| タイマーを使ってコーヒーをいれる

タイマーを使うと、あらかじめ設定した時刻に運転を開始できます。

ご注意

- タイマーを使うには、時計の設定が必要です。あらかじめ設定を行ってください。
➔ 「時計を設定する」 [12ページ](#)

1

部品の取り付けや、コーヒー豆・粉の準備をする

- 「準備する」(15ページ)を参照してください。

ご注意

- コーヒーサーバーや、ステンレスフィルターまたはペーパーフィルターを必ずセットしてください
セットし忘れると、抽出中にコーヒーがあふれ出し、機器の故障・周囲の汚損の原因となります。

2

「入/切」ボタンを押して、電源を入れる

3

抽出の設定をする

- 14ページを参照してください。

4

⌚(タイマー)ボタンを3秒以上長押しして、タイマー時刻の設定モードに切り替える

- タイマー時刻の設定モードに切り替わると、⌚が点滅します。



5

タイマー時刻を設定する

- ① ダイヤルを回して「時」を設定したら、⌚(タイマー)ボタンを押す



- ② ダイヤルを回して「分」を設定する
「分」は5分単位で設定できます。

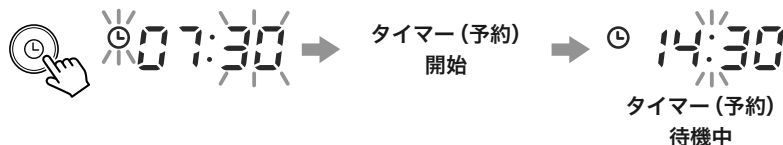


| タイマーを使ってコーヒーをいれる

6

⌚(タイマー)ボタンを押して、タイマー (予約)を開始する

- ⌚(タイマー)アイコンとタイマー時刻が点滅から点灯に切り替わり、タイマー (予約)が始まります。タイマー (予約)中は、現在の時刻が表示されます。



- タイマー (予約)の設定時刻を解除(リセット)するには、「スタート/取り消し」ボタンを押してください。新たに設定をする場合は、「タイマーを使ってコーヒーをいれる」(23ページ)の手順4～手順6を参照してください。

ご注意

- 電源プラグをコンセントから抜くと、時計やタイマー (予約)設定がリセットされるため、タイマー (予約)が実行されません。

タイマー (予約)を繰り返し使うには

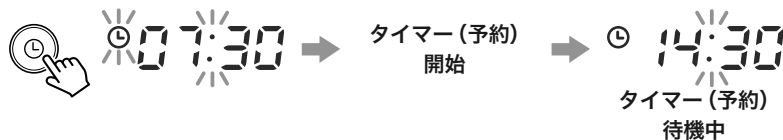
一度タイマー時刻を設定すると、電源プラグをコンセントから抜かない限り、設定時刻が記憶されます。

1 「入/切」ボタンを押して、電源を入れる

2 ⌚(タイマー)ボタンを押す
⌚と「:」が5秒間点滅します。



3 5秒以内に⌚(タイマー)ボタンを押して、タイマー (予約)を開始する



お手入れ

ご注意

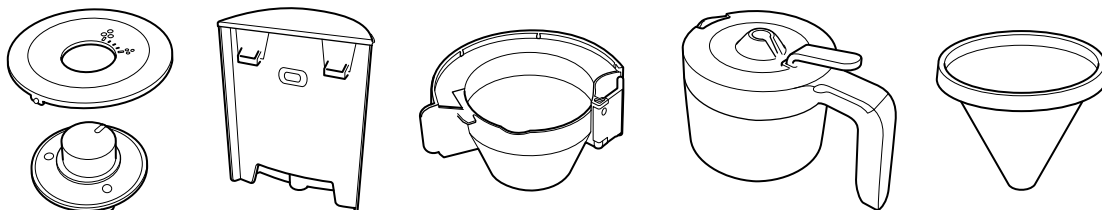
- お手入れは、必ず電源を切って本体が冷めた後(約30分後)に行ってください。高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面を傷つける原因になります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。表面を傷つける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。
- お手入れした各部品は、充分に乾いてから本体にセットしてください。水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

豆容器ふた・ひき目調節ダイヤル・給水タンク・バスケット・コーヒーサーバー・ステンレスフィルター

ご注意

- コーヒーサーバーは水に浸さないでください。
- ステンレスフィルターは、やわらかいスポンジなどでやさしく洗ってください。強い力で洗うと、破損の原因になります。

台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぎます。



給水タンク内部の汚れが気になるとき

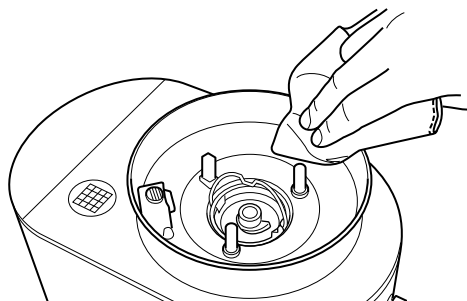
クエン酸 約10gを40℃以下のお湯に溶かしたクエン酸水を給水タンクに入れて、約12時間放置してください。クエン酸はよく洗い流してください。

豆容器内部

ご注意

- 豆容器内部は、水洗いできません。

乾いた柔らかい布で拭いてください。



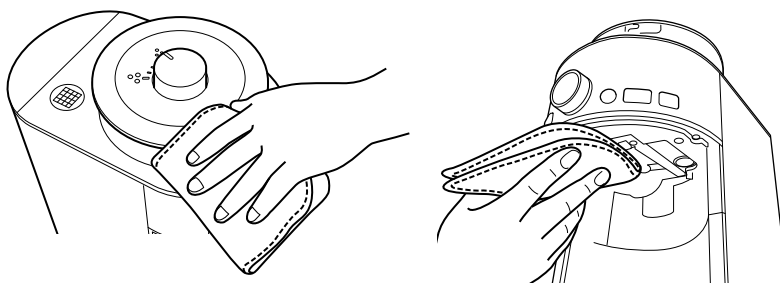
お手入れ

本体外部・プレート・操作部下側

ご注意

- 本体外部・プレート・操作部下側は、水洗いできません。
- 直接水をかけたり、丸洗いしたりしないでください。

汚れ、飛び散った粉を、乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに、台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



本体内部のクエン酸洗浄

お湯の出が悪くなったり、コーヒーをいれるのに時間がかかるようになったら、クエン酸洗浄をしてください。

ご使用いただいているうちに、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が本体内部に付着します。これは水アカといわれるもので衛生上問題はありますが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

- 1 コーヒーサーバーをプレートにセットする
- 2 水500 mlにクエン酸(10 g程度)を入れて、かき混ぜて溶かす
計量カップなどを使用してください。
- 3 クエン酸水を給水タンクに入れ、本体に取り付ける
- 4 「入/切」ボタンを押して、電源を入れる
- 5 「粉/豆」ボタンを押して「粉」を選び、ダイヤルを回して「4杯」を選ぶ
- 6 「スタート/取消」ボタンを押す
抽出が終了したら、お湯を捨てて、コーヒーサーバーをよくすすぎます。
- 7 クエン酸のにおいを取るため、水だけで抽出を2～3回くり返す

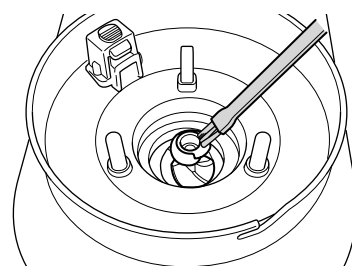
ミル上側・ミル下側

ご注意 ● ミル上側・ミル下側は、水洗いできません。さびの原因になります。

- 1 豆容器ふた、ひき目調節ダイヤルを取り外す
→ 「取り外しかた」 **8ページ**
- 2 ミル上側を取り外し、お手入れブラシで粉や破片を取り除く



- 3 ミル下側と周辺の粉や破片を、お手入れブラシでミル内部に掃き落とす



- 4 ミル上側、ひき目調節ダイヤル、豆容器ふたを取り付ける
- 5 空運転を10秒間行い、内部の粉や破片を落とす

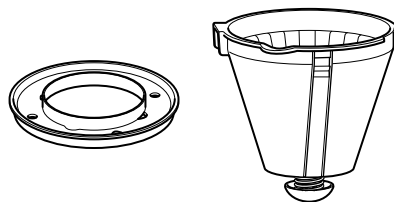
空運転をする

- 1 「入/切」ボタンを押す
- 2 「豆/粉」ボタンを押して、「豆」を選ぶ
- 3 「スタート/取消」ボタンを押して、空運転を開始する
- 4 10秒後、「スタート/取消」ボタンを押して、空運転を停止する

お手入れ

ドリッパーふた・ドリッパー

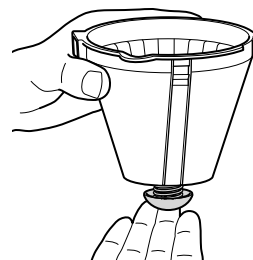
台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぎます。



しずくもれ防止弁のお手入れ

しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーがもれることがあります。本製品を使用するたびに、しずくもれ防止弁を必ず洗ってください。ドリッパーに水をためてから、しずくもれ防止弁を2～3回押し上げて、汚れを洗い流します。

しずくもれ防止弁を強く引っ張ると、外れることがあるのでご注意ください。



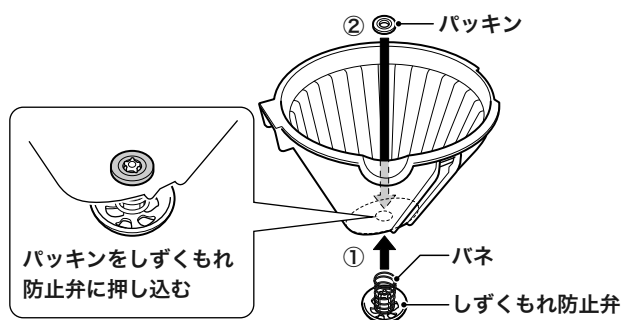
しずくもれ防止弁が外れたときは

以下の手順で取り付けてください。

- 1 しずくもれ防止弁にバネをつけた状態で、ドリッパーの底面から差し込む

- 2 パッキンをしずくもれ防止弁に押し込む

パッキンが手で取り付けにくい場合は、先の長いもの(口の広いストローなど)を使ってください。



故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 「入/切」ボタンを押しても、電源が入らない。

A 電源プラグが抜けていませんか。

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

Q2 「スタート/取消」ボタンを押しても動作しない。

A 豆容器の中のひき目調節ダイヤルがしっかりと取りついていますか。

ひき目調節ダイヤルを確実に取り付けてください (8ページ)。

Q3 運転が途中で止まった。

A 抽出完了後、連続して運転していませんか。

連続して運転する場合は、5分以上冷ましてください。

Q4 コーヒーが抽出されない。

A1 給水タンクに水が入っていますか。

給水タンクに、作るコーヒーのカップ数に応じた分量の水を入れてください。

A2 給水タンクが正しく取り付けられていますか。

給水タンクを正しく取り付けてください。

Q5 コーヒーがすべて落ちきらず、バスケットに残る。

A1 ステンレスフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。

ステンレスフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。網目に詰まったコーヒー粉は、付属のお手入れブラシで払って取り除いてください。

A2 コーヒー豆の種類や使用量によっては、抽出終了後もバスケットの中にコーヒーが残る場合があります。その場合は、抽出が止まるまでお待ちください。

| 故障かなと思ったら

Q6 バスケットからコーヒーがあふれる。

- A1** フィルターが取りつけられていますか。 > フィルターを正しく取りつけてください。
-
- A2** 30g (スプーン約5杯)以上のコーヒー粉をバスケットに入れていませんか。 > 正しい量のコーヒー粉をバスケットに入れてください。
-
- A3** しずくもれ防止弁にコーヒーの粉が詰まっていますか。 > しずくもれ防止弁はご使用ごとにお手入れしてください。
-
- A4** コーヒーサーバーが正しくセットされていますか。 > コーヒーサーバーを正しくセットしてください。
-
- A5** ステンレスフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。 > ステンレスフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。網目に詰まったコーヒー粉は、付属のお手入れブラシで払って取り除いてください。

Q7 ひいたコーヒー粉がバスケットにたまらない。

- A** ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。 > ミルのお手入れをしてください(27ページ)。

Q8 コーヒー豆がひけない。

- A** ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。 > ミルのお手入れをしてください(27ページ)。

Q9 ミルがすぐに停止する。

- A** ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。 > ミルのお手入れをしてください(27ページ)。

Q10 ミル上側が本体からはずれない。

- A** コーヒー豆をひいている途中でミルが停止していませんか。 > ミルを動作させながら、ひき目調整ダイヤルを粗びきに合わせ、コーヒー豆をひく音がしなくなるまで動作させてください。

Q11 コーヒーの味が異常に薄い/濃い。

- A コーヒー粉、水の量は合っていますか。 > 正しい量のコーヒー粉と水の量を入れてください。

Q12 お湯の出が悪い/抽出に時間がかかる。

- A 本体内部に水アカなどが付着して汚れていませんか。 > 水アカなどの汚れがひどくなると、お湯の出が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください(26ページ)。

Q13 コーヒーをいれるとプラスチック臭がする。

- A 使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。
お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は1～2回水だけで抽出してからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください(26ページ)。

Q14 しずくもれ防止弁が外れた。

- A 必要な部品(パッキン、バネ)が不足していないことを確認して、「しずくもれ防止弁が外れたときは」(28ページ)を参照し、取りつけてください。
部品を紛失した場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

Q15 電源コード・電源プラグに損傷が見られる。

- A 直ちに使用を中止して、サポートセンターへご連絡ください。

Q16 本体の部品や、コーヒーサーバーなどを破損してしまった。

- A サポートセンターまでお問い合わせください。

Q17 エラーメッセージが表示される。

- A 「E1」、「E2」が表示される。 > 故障の可能性があります。電源コードを抜いて直ちに使用を中止して、サポートセンターへお問い合わせください。

| 仕様

品名(型番)	コーン式全自動コーヒーメーカー (SC-C124)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	750 W
質量(約)	4.0 kg (付属品を除く)
外形寸法(約)	幅 16 cm × 奥行 27 cm × 高さ 39 cm
抽出方式	ドリップ方式
最大使用水量	540 ml
電源コードの長さ(約)	1.2 m
付属品	ステンレスフィルター、計量スプーン、お手入れブラシ
原産国	中国

重要

- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

長年ご使用の製品の点検を!

- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。